

# おおくま

No.18  
(臨時6号)  
平成24年  
4月15日  
発行



好間第1仮設住宅での懇談会

## 議長あいさつ

町民の皆様へ

日頃から議会活動へのご協力、ご支援に感謝申し上げます。

さて、1月から2月にかけて町民との懇談会を仮設住宅16ヵ所と6地域ブロックに分け実施させて頂きましたが、合計1,000名を超える町民の方々にご参加頂きありがとうございました。心から御礼申し上げます。

頂きましたご質問・ご要望については議会内に設置の災害復興対策特別委員会で精査し、国・県・町へ要望事項としてまとめております。

今回は、懇談会で出された質問・要望内容を、項目ごとにまとめましたので、速報として取り急ぎ報告させていただきます。

なお、過去の経過やプロセスについてのご意見は、今回の報告には記載しておりません。あらかじめご了承をお願いします。

大熊町議会議長 千葉幸生

大熊町役場 会津若松出張所  
〒965-0873  
福島県会津若松市追手町2-41  
TEL 0242-26-3844 (代表)

## 仮設住宅

- ・結露対策をしてほしい。除湿機を準備してほしい。
- ・いつまで仮設住宅に住むのか？ここには長く住めない。（3か所）
- ・老人の体調不良が見られる、早く次の生活を確保してほしい。
- ・ゴミ分別の徹底を。
- ・仮設住宅内の道路は車が入ると危険である。
- ・鹿島の仮設住宅の浄化槽が匂う。移動してほしい。
- ・仮設住宅のメンテナンスをしてほしい。
- ・除雪は10センチでなく、何センチでもやってほしい。
- ・雨どいをつけてほしい。
- ・いわき市の仮設住宅は今後どれくらい増設するのか。（3か所）
- ・風呂の追い炊き機能をつけてほしい。（3か所）
- ・一時帰宅で持ち出しても置く場所がない。対策をしてほしい。（5か所）
- ・修繕は町がやり、後で県からお金をもらえばいいのではないか。
- ・部屋が狭く環境が悪い。（4か所）
- ・バリアフリーになっていない。
- ・仮設住宅の空き部屋利用方法を考えてほしい。（2か所）
- ・障害者用スロープに滑り止めをつけてほしい。
- ・役場に行った際の宿泊に仮設住宅を使わせてほしい。

## 借上住宅

- ・借り上げ住宅にも支援物資を届けてほしい。（2か所）
- ・借り上げ住宅のコミュニティーを維持する方法を考えてほしい。（3か所）
- ・借り上げ、仮設の不平等を改善してほしい。（2か所）
- ・借り上げ住宅の対応は県により差があるため改善してほしい。

## 中間貯蔵施設

- ・施設は電気利用者である関東につくるべきだ。
- ・施設には反対するべきだ。最終処分はどうなるのか。（3か所）
- ・施設を町内につくり、賠償等高くなるよう交渉するべきだ。早く進めてほしい。（6か所）
- ・施設については町民のアンケートをとるべきだ。
- ・施設を双葉郡につくりたいなら、住民に聞くべきではないか。
- ・施設は最後のカード。賠償を優位に進めてほしい。（2か所）
- ・低線量のゴミは関東圏で受入れるべきだ。
- ・最終処分を決めてから中間貯蔵の議論をするべきだ。

## 賠償

- ・東電も懇談会を開いてほしい。
- ・役場に弁護士を置くと言ったが司法書士ではないか。
- ・政府、東電社長、国会議員との懇談をしたい。
- ・精神的賠償の月10万は安すぎる。増額してほしい。帰宅まで続けてほしい。(5か所)
- ・避難先に住所を移してないので住みづらい。移すと賠償はどうなるのか。
- ・早く次の場所に住みたい。賠償を早く確定させてほしい。
- ・東電は見舞金を出すべきだ。仮払い100万円は見舞金にするべきだ。(3か所)
- ・除染にお金を使わずに賠償にまわしてはどうか。(3か所)
- ・双葉郡が一つになり復興や除染、賠償を進めてほしい。(4か所)
- ・東京電力の賠償を長期的に実施してほしい。
- ・賠償は個人でなく町が全面的に支援すべき。弁護団結成してほしい。(9か所)
- ・賠償は線量でなく町単位で行うべきだ。

## 復興、帰還

- ・復興計画策定会議のメンバーはどうやって決めたのか。
- ・早く復興住宅に移動したい。場所はどこなのか。何年かかるのか。(14か所)
- ・国や県の施策を待つより町から訴えてほしい。(3か所)
- ・町は今後の方向性を早く出してほしい。(3か所)
- ・何年も待てない、高齢者は亡くなってしまう、スピード感をもって対応してほしい。
- ・学校が縮小してきているが、将来はどうなるのか。
- ・居住可能地域とはどれくらいの線量をいうのか。
- ・町外で安心して住めるよう復興住宅を早くつくってほしい。
- ・原発ありきの大熊だった。今後も上手に共存できないか。
- ・戻れないことを前提に進めてほしい。(4か所)
- ・帰宅(復興)と雇用は同時に進めてほしい。早く雇用対策を示してほしい。(3か所)
- ・3つの区域分けは町単位で。大熊町を分断してはいけない。
- ・復興のため町の機能はいわき市に移すべきだ。町内に通える範囲がよい。(3か所)
- ・除染が進んでも中間貯蔵施設ができたなら帰れないのではないか。
- ・自由に一時帰宅できるようにしてほしい。
- ・何年で帰れるのか、早く期間を示してほしい。
- ・一日でも早く帰るため町全体を除染をしてほしい。(3か所)
- ・除染と雇用の確保、インフラ整備は同時にすすめるべきだ。

## 除 染

- ・モデル除染の効果はどうなっているのか。（7か所）
- ・家の中の除染はどうやって進めるのか。
- ・除染は低い地域からやるべきだ。
- ・町内の線量、汚染のマップを公表してほしい。（4か所）
- ・除染したからといって帰れるのか。（3か所）
- ・モデル除染の場所・借り置き場等、近隣の住民に説明するべきだ。（3か所）

## そ の 他

- ・いわき市の高校を受験したいが住む場所がない。（2か所）
- ・広島のように被ばく者手帳を発行できないか。（2か所）
- ・自立を促されてもどうやって自立していいか解らない。
- ・個人情報保護法で、友人や親戚がどこにいるか解らなく困っている。（2か所）
- ・国保の金額が上がっているが何故なのか。
- ・情報がほしい。
- ・義援金を頂いた団体などのリストを公表してほしい。
- ・放射線の知識、生活への影響を学べる場がほしい。（2か所）
- ・会津若松市内の通学バスは近くまで来てほしい。
- ・牛の処分を早くしてほしい。一時帰宅での際に危険である。（3か所）
- ・所得税に対し緩和措置が必要では。前年の所得に課税されるので対策をしてほしい。
- ・大熊町は何故会津若松市に避難したのか。（2か所）
- ・議会の懇談は、少人数で回数を増やしてほしい。（2か所）
- ・子どものいる家庭を引き留める施策が必要ではないか。
- ・町民の雇用対策をしてほしい。（2か所）
- ・郡山市にも役場機能を設置してほしい。
- ・放射線管理について基準が甘くなっていないか。
- ・採石の汚染状況の把握はしているのか。
- ・サテライト校の生徒は寮でなく家族で仮設に住めないか。
- ・サテライト校への通学バスを運行してほしい。
- ・ペットの救出をしてほしい。殺処分は反対である。
- ・相双の高校を守ってほしい。母校をなくしたくない。（2か所）
- ・アンケートは記名式で行ってほしい。